

令和8年度 専攻科学生募集要項

選 抜 区 分	出 願 期 間	選 抜 期 日	合 格 発 表 日
推 薦 選 抜	令和7年5月7日(水)～ 令和7年5月9日(金)	令和7年5月16日(金)	令和7年5月23日(金)
学 力 選 抜	令和7年9月2日(火)～ 令和7年9月5日(金)	令和7年9月16日(火)	令和7年10月3日(金)
社会人特別選抜	令和7年10月15日(水)～ 令和7年10月17日(金)	令和7年11月13日(木)	令和7年11月21日(金)
アドミッション・オフィス選抜 (AO選抜)	令和7年10月15日(水)～ 令和7年10月17日(金)	令和7年11月13日(木)	令和7年11月21日(金)

独立行政法人国立高等専門学校機構

松江工業高等専門学校

〒690-8518 松江市西生馬町14-4

電 話 (0852) 36-5131 (学生課)

FAX (0852) 36-5148 (学生課)

電子メール kyoumu@matsue-ct.ac.jp

インターネットホームページ

<https://www.matsue-ct.jp/>

令和8年度 専攻科学生募集要項

I アドミッション・ポリシー

科学技術の高度化が進む中、産業界における技術革新と国際化に対応するために、本校専攻科では、「創造性と実践的技術力を兼ね備えた国際的エンジニア」を教育理念として定め、研究開発能力、専門知識、職業倫理、国際性を身につけることを目指しています。その目標を達成するための資質を備えた、「基礎学習能力があり、専門的技術開発に意欲を有する」学生の入学を期待しています。

詳細は、本校ホームページをご確認ください。

II 募集人員

生産・建設システム工学専攻	8名
電子情報システム工学専攻	12名

III 選抜方法

入学者の選抜は、推薦選抜、学力選抜、社会人特別選抜及びアドミッション・オフィス選抜（以下「AO選抜」という。）とし、下記により行います。

選 抜 区 分	選 抜 期 日
推薦による選抜	令和7年5月16日（金）
学力検査による選抜	令和7年9月16日（火）
社会人特別選抜	令和7年11月13日（木）
AO選抜	令和7年11月13日（木）

（注1）社会人特別選抜、AO選抜の選抜人数は、いずれも若干名とします。

推 薦 選 抜

1. 出願資格

下記の各号に該当し、専門的技術開発への意欲がある者で、在学高等専門学校長（本校の場合は所属学科長）の推薦を得たものとします。

- （1）高等専門学校を令和8年3月卒業見込みの者
- （2）学業成績及び人物が優れていると認められる者
- （3）本校に合格した場合、確実に入学する意思がある者

2. 願書受付

(1) 期 間	令和7年5月7日（水）～ 令和7年5月9日（金）16：00 必着 （郵送の場合は書留郵便にて提出してください）
(2) 時 間 （窓口受付）	窓口での受付時間 10：00～12：00, 13：00～16：00
(3) 場 所	松江工業高等専門学校 学生課 〒690-8518 松江市西生馬町 14-4 電話（0852）36-5131

3. 出願手続

志願者は、次の書類を取りまとめ、必要事項が記載された角形2号封筒に入れて、提出してください。

(1) 入 学 願 書 受 験 票 写 真 票	本校ホームページより様式ファイルをダウンロードし、必要事項を記入し印刷したもの。 写真票は、所定の位置に最近3ヶ月以内に撮影した正面・上半身・脱帽の写真（縦4cm×横3cm）を貼付してください。
(2) 入 学 志 願 者 推 薦 書	本校ホームページより様式ファイルをダウンロードし、在学学校長が必要事項を記載したもの。
(3) 志 望 理 由 書	本校ホームページより様式ファイルをダウンロードし、志願者が志望した動機等を記入したもの。
(4) 入 学 志 願 者 調 査 書	本校ホームページより様式ファイルをダウンロードし、在学学校長が作成し、厳封したもの。
(5) 工 学 研 究 指 導 同 意 書	本校ホームページより様式ファイルをダウンロードし、入学後工学研究を指導する予定の教員が必要事項を記載したもの。
(6) 検 定 料	入学検定料 16,500円 振込受付期間 令和7年4月28日（月）～令和7年5月9日（金） 振込先金融機関名 山陰合同銀行 支店名 本店営業部 預金種目 普通 口座番号 3663811 受取人トク コリツコウトケンモガッコウキョウホブ [独] 国立高等専門学校機構本部] 振込方法及び提出書類 次のいずれかの方法でお振込ください。振込依頼人のお名前は受験者の氏名としてください。 ・金融機関の窓口から振り込む場合 振込用紙（控）を「振込受付証明書」提出票に貼付し提出してください。 ・ATM から振り込む場合 ATM ご利用明細を「振込受付証明書」提出票に貼付し提出してください。 ・インターネットバンキングから振り込む場合 振込内容の確認できるページを印刷して「振込受付証明書」提出票に貼付

	して提出してください。 ※振込の際は金融機関の営業日、営業時間を十分考慮して手続きを行ってください。
(7) 返信用封筒 (1 枚)	受験票送付用として使用しますので、定型封筒〔長形 3 号 (12 cm×23.5 cm) 〕に氏名を記入して提出してください。 なお、郵送を希望する場合は、郵便番号及びあて名を記入し、460 円分の切手(簡易書留料金を含む)を貼付して提出してください。
(8) そ の 他	現に日本国内に在住する外国人は、住民票(在留資格等を記載したもの。マイナンバーの記載のないもの。)を提出してください。

(願書提出上の注意)

- ① 出願書類の不備なものは受け付けません。
- ② 提出した出願書類に虚偽の記載があった場合は、入学後であっても入学を取り消すことがあります。
- ③ 出願書類提出後の記載事項の変更は認めません。
- ④ 受理した出願書類はいかなる理由があっても返還できません。
- ⑤ 納付された検定料の返還請求ができるのは、以下の場合です。
 - ・検定料を納付したが出願しなかった場合
 - ・検定料を納付したが出願書類の不備により受け付けられなかった場合
 - ・検定料を過大に納付した、又は重複して納付した場合

該当する場合は、松江工業高等専門学校 総務課会計室財務係(電話 0852-36-5121)までご連絡ください。なお、返還に係る振込手数料は請求者の負担となります。

4. 選抜方法

- (1) 入学者の選抜は、推薦書、調査書及び志望理由書の内容等を総合して行います。
面接は、本校以外の教育機関の出身者のみ実施します。
- (2) 面接の日時場所
 - ① 日 時 令和 7 年 5 月 16 日 (金) 16:00~
 - ② 場 所 松江工業高等専門学校

5. 合格者の発表

- (1) 日 時 令和 7 年 5 月 23 日 (金) 14 時
- (2) 発表方法 合格者の受験番号を本校に掲示するとともに、合格者には、合格通知書を本人に手交又は郵送します。なお、電話等による問い合わせには一切応じません。
また、掲示後、松江高専ホームページ <https://www.matsue-ct.jp> の「お知らせ」に合格者の受験番号を参考までに掲載します。
- (3) 入学確約書の提出

合格通知を受けた者は、令和 7 年 5 月 30 日（金）16 時まで「入学確約書」を
松江工業高等専門学校学生課へ提出してください。（郵送の場合も、簡易書留
郵便で 5 月 30 日（金）16 時**必着**とします。）

なお、入学確約書を提出しない者は、本校に入学の意思がないものとして取り扱
います。

学 力 選 抜

1. 出願資格

下記の各号のいずれかに該当する者とします。

- (1) 高等専門学校を卒業した者又は令和 8 年 3 月卒業見込みの者
- (2) 短期大学を卒業した者又は令和 8 年 3 月卒業見込みの者
- (3) 専修学校の専門課程を修了した者又は令和 8 年 3 月修了見込の者のうち学校教育法 132 条の
規定により大学に編入学することができる者
- (4) 外国において、学校教育における 14 年の課程を修了した者又は令和 8 年 3 月修了見込みの者
- (5) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の
学校教育における 14 年の課程を修了した者又は令和 8 年 3 月修了見込みの者
- (6) 我が国において、外国の短期大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における 14 年の課
程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置
付けられていた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者又
は令和 8 年 3 月修了見込みの者
- (7) その他高等専門学校を卒業した者と同等以上の学力があると専攻科が認めた者

2. 願書受付

(1) 期 間	令和 7 年 9 月 2 日（火）～令和 7 年 9 月 5 日（金）16：00 必着 （郵送の場合は書留郵便にて提出してください）
(2) 時 間 （窓口受付）	窓口での受付時間 10：00～12：00, 13：00～16：00
(3) 場 所	松江工業高等専門学校 学生課 〒690-8518 松江市西生馬町 14-4 電話（0852）36-5131

3. 出願手続

志願者は、次の書類を取りまとめ、必要事項が記載された角形 2 号封筒に入れて提出してくださ
い。

入 学 願 書	本校ホームページより様式ファイルをダウンロードし、必要事項を記入し
(1) 受 験 票	印刷したもの。
写 真 票	写真票は、所定の位置に最近 3 ヶ月以内に撮影した正面・上半身・脱帽の

	写真（縦4cm×横3cm）を貼付してください。
(2) 志望理由書	本校ホームページより様式ファイルをダウンロードし、志願者が志望した動機等を記入したもの。
(3) 入学志願者調査書	本校ホームページより様式ファイルをダウンロードし、在学又は出身学校長が作成し、厳封したもの。 出願資格の(3)(4)(5)(6)により出願する者は、それを証明する書類を併せて提出してください。
(4) TOEIC 得点証明書	出願期間最終日から過去2年以内の得点証明書（スコアシート）の原本を提出してください。
(5) 検定料	入学検定料 16,500円 振込受付期間 令和7年8月28日（木）～令和7年9月5日（金） 振込先金融機関名 山陰合同銀行 支店名 本店営業部 預金種目 普通 口座番号 3663811 受取人トク コリツコウトケンモガッコウキョウブン [独] 国立高等専門学校機構本部] 振込方法及び提出書類 次のいずれかの方法でお振込ください。振込依頼人のお名前は受験者の氏名としてください。 ・金融機関の窓口から振り込む場合 振込用紙（控）を「振込受付証明書」提出票に貼付し提出してください。 ・ATM から振り込む場合 ATM ご利用明細を「振込受付証明書」提出票に貼付し提出してください。 ・インターネットバンキングから振り込む場合 振込内容の確認できるページを印刷して「振込受付証明書」提出票に貼付して提出してください。 ※振込の際は金融機関の営業日、営業時間を十分考慮して手続きを行ってください。
(6) 返信用封筒 (1枚)	受験票送付用として使用しますので、定型封筒〔長形3号（12cm×23.5cm）〕に氏名を記入して提出してください。 なお、郵送を希望する場合は、郵便番号及びあて名を記入し、460円分の切手（簡易書留料金を含む）を貼付して提出してください。
(7) その他	現に日本国内に在住する外国人は、住民票（在留資格等を記載したもの。マイナンバーの記載のないもの。）を提出してください。

※ 推薦選抜の結果、合格しなかった者が受験する場合は、調査書の再提出は必要ありません。

（願書提出上の注意）

- ① 出願書類の不備なものは受け付けません。

- ② 提出した出願書類に虚偽の記載があった場合は、入学後であっても入学を取り消すことがあります。
- ③ 出願書類提出後の記載事項の変更は認めません。
- ④ 受理した出願書類はいかなる理由があっても返還できません。

※ TOEIC 得点証明書を除く。なお、TOEIC 得点証明書の原本は学力選抜当日、直接本人に返還します。

- ⑤ 納付された検定料の返還請求ができるのは、以下の場合です。

- ・検定料を納付したが出願しなかった場合
- ・検定料を納付したが出願書類の不備により受け付けられなかった場合
- ・検定料を過大に納付した、又は重複して納付した場合

該当する場合は、松江工業高等専門学校 総務課会計室財務係（電話 0852-36-5121）までご連絡ください。なお、返還に係る振込手数料は請求者の負担となります。

4. 選抜方法

入学者の選抜は、学力試験、調査書及び志望理由書の内容等を総合して行います。

面接は、本校以外の教育機関の出身者のみ実施します。

- (1) 学力試験の科目・出題分野

科 目		出 題 分 野	時 間	配 点
各専攻共通 (一般科目)	英 語	TOEIC の得点による。		100
	数 学	微分積分（微分方程式を含む），線形代数	45 分	100

- (2) 試験日時

月 日	時 間	科 目 等
9 月 16 日 (火)	9:15～10:00 10:30～	数 学 面 接

- (3) 試験場所

松江工業高等専門学校

(受験上の注意事項)

- ① 試験室には、黒鉛筆（シャープペンシルも可），消しゴム，鉛筆削り，ハンカチ，ティッシュペーパー，貴重品以外の携行品は持ち込まないでください。（携帯電話，スマートフォン，タブレット端末，ウェアラブル端末及び時計は持ち込み不可）
- ② TOEIC の得点は，600 点を学力試験の得点 100 点に換算します。

5. 合格者の発表

(1) 日 時 令和7年10月3日(金) 14時

(2) 発表方法 合格者の受験番号を本校に掲示するとともに、合格者には、合格通知書を本人に手交又は郵送します。なお、電話等による問い合わせには一切応じません。

また、掲示後、松江高専ホームページ <https://www.matsue-ct.jp> の「お知らせ」に合格者の受験番号を参考までに掲載します。

(3) 入学確約書の提出

合格通知を受けた者は、令和7年11月28日(金) 16時までに「入学確約書」を松江工業高等専門学校学生課へ提出してください。(郵送の場合も、簡易書留郵便で11月28日(金) 16時必着とします。)

なお、入学確約書を提出しない者は、本校に入学の意思がないものとして取り扱います。

社会人特別選抜

1. 出願資格

出願時において、社会人の経験を1年以上有する者で、下記の各号のいずれかに該当する者とします。

- (1) 高等専門学校を卒業した者
- (2) 短期大学を卒業した者
- (3) 専修学校の専門課程を修了した者のうち学校教育法132条の規定により大学に編入学することができる者
- (4) 外国において、学校教育における14年の課程を修了した者
- (5) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における14年の課程を修了した者
- (6) 我が国において、外国の短期大学の課程(その修了者が当該外国の学校教育における14年の課程を修了したとされるものに限る。)を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられていた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者
- (7) その他高等専門学校を卒業した者と同等以上の学力があると専攻科が認めた者

2. 願書受付

(1) 期 間	令和7年10月15日(水)～令和7年10月17日(金) 16:00必着 (郵送の場合は書留郵便にて提出してください)
(2) 時 間 (窓口受付)	窓口での受付時間 10:00～12:00, 13:00～16:00

(3) 場 所	松江工業高等専門学校 学生課 〒690-8518 松江市西生馬町 14-4 電話 (0852) 36-5131
---------	--

3. 出願手続

志願者は、次の書類を取りまとめ、必要事項が記載された角形 2 号封筒に入れて、提出してください。

(1) 入 学 願 書 受 験 票 写 真 票	本校ホームページより様式ファイルをダウンロードし、必要事項を記入し印刷したもの。 写真票は、所定の位置に最近 3 ヶ月以内に撮影した正面・上半身・脱帽の写真（縦 4 c m × 横 3 c m）を貼付してください。
(2) 入 学 志 願 者 受 験 承 諾 書	本校ホームページより様式ファイルをダウンロードし、企業等の所属の長が必要事項を記入したもの。 (企業等に在職のまま入学する者のみ提出してください。)
(3) 志 望 理 由 書	本校ホームページより様式ファイルをダウンロードし、志願者が志望した動機等を記入したもの。
(4) 入 学 志 願 者 調 査 書	本校ホームページより様式ファイルをダウンロードし、出身学校長が作成し、厳封したもの。 出願資格の(3)(4)(5)(6)により出願する者は、それを証明する書類を併せて提出してください。
(5) 工 学 研 究 指 導 同 意 書	本校ホームページより様式ファイルをダウンロードし、入学後工学研究を指導する予定の教員が必要事項を記載したもの（事前に、問い合わせ先（15 頁）でご確認願います）。
(6) 検 定 料	入学検定料 16,500 円 振込受付期間 令和 7 年 10 月 8 日（水）～令和 7 年 10 月 17 日（金） 振込先金融機関名 山陰合同銀行 支店名 本店営業部 預金種目 普通 口座番号 3663811 受取人(トク) コクリツコウトウケンモンガクコウキョウボ [独] 国立高等専門学校機構本部 振込方法及び提出書類 次のいずれかの方法でお振込ください。振込依頼人のお名前は受験者の氏名としてください。 ・金融機関の窓口から振り込む場合 振込用紙（控）を「振込受付証明書」提出票に貼付し提出してください。 ・ATM から振り込む場合 ATM ご利用明細を「振込受付証明書」提出票に貼付し提出してください。 ・インターネットバンキングから振り込む場合 振込内容の確認できるページを印刷して「振込受付証明書」提出票に貼付して提出してください。 ※振込の際は金融機関の営業日、営業時間を十分考慮して手続きを行って

	ください。
(7) 返信用封筒 (1枚)	受験票送付用として使用しますので、定型封筒〔長形3号(12cm×23.5cm)〕に氏名を記入して提出してください。 なお、郵送を希望する場合は、郵便番号及びあて名を記入し、460円分の切手(簡易書留料金を含む)を貼付して提出してください。
(8) その他	現に日本国内に在住する外国人は、住民票(在留資格等を記載したもの。マイナンバーの記載のないもの。)を提出してください。

(願書提出上の注意)

- ① 出願書類の不備なものは受け付けません。
- ② 提出した出願書類に虚偽の記載があった場合は、入学後であっても入学を取り消すことがあります。
- ③ 出願書類提出後の記載事項の変更は認めません。
- ④ 受理した出願書類はいかなる理由があっても返還できません。
- ⑤ 納付された検定料の返還請求ができるのは、以下の場合です。
 - ・検定料を納付したが出願しなかった場合
 - ・検定料を納付したが出願書類の不備により受け付けられなかった場合
 - ・検定料を過大に納付した、又は重複して納付した場合

該当する場合は、松江工業高等専門学校 総務課会計室財務係(電話 0852-36-5121)までご連絡ください。なお、返還に係る振込手数料は請求者の負担となります。

4. 選抜方法

入学者の選抜は、面接、志望理由書及び調査書の内容等を総合して行います。

面接においては、技術者としての適性を見ます。

- (1) 面接日時 令和7年11月13日(木) 13時から
- (2) 面接場所 松江工業高等専門学校

5. 合格者の発表

- (1) 日 時 令和7年11月21日(金) 14時
- (2) 発表方法 合格者の受験番号を本校に掲示するとともに、合格者には、合格通知書を本人に手交又は郵送します。なお、電話等による問い合わせには一切応じません。
また、掲示後、松江高専ホームページ <https://www.matsue-ct.jp> の「お知らせ」に合格者の受験番号を参考までに掲載します。
- (3) 入学確約書の提出
合格通知を受けた者は、令和7年11月28日(金) 16時までに「入学確約書」を松江工業高等専門学校学生課へ提出してください。(郵送の場合も、簡易書留郵便で11月28日(金) 16時**必着**とします。) なお、入学確約書を提出しない者は、本校に入学の意思がないものとして取り扱います。

アドミッション・オフィス選抜（AO選抜）

AO選抜は、志願者のこれまでの技術的な作品や取り組み、あるいは技術的な開発経験などをもとにして技術者としての優れた可能性を判定し、専攻科への入学を決定します。志願者には、自身のこれまでの技術的な作品や取り組み、あるいは技術的な開発実績などをもとに取り組み報告書を作成して提出していただきます。

なお、AO選抜は、志願者自らの主体的な取り組み等を評価するものであり、在学時又は在学中の授業（卒業研究を含む）等において、教員の指導の下に行われた取り組みは、合格判定の対象とならないことをご承知おきください。

書類審査では、取り組み報告書をもとに、志願者の取り組み等が以下のいずれかの水準に達しているかを判定します。

- (1) 商品となり得る性能を持つ機械・メカトロニクス要素・システム等、電子関連機器・システム等、コンピュータ応用機器・システム等を、資料等（書籍を含む）を参照しながら設計、試作でき、（測定器等を用いて）評価できる能力
- (2) オリジナリティあるいは実用性を備えたシステムを、資料等（書籍を含む）を参照しながら設計、開発、評価できる能力
- (3) 環境保全、持続可能な社会の実現、社会資本の高性能化・長寿命化、災害時の被害軽減など、人々が安全で安心して生活できる社会の実現に資する技術の提案、システム開発ができる能力

面接審査では、その取り組み等についてプレゼンテーションしていただき、質疑応答をもとに、志願者が技術者としての優れた可能性を有しているかを判定します。

1. 出願資格

技術的な作品や取り組み、あるいは技術的な開発経験を有する者で、下記の各号のいずれかに該当する者とします。

- (1) 高等専門学校を卒業した者又は令和8年3月卒業見込みの者
- (2) 短期大学を卒業した者又は令和8年3月卒業見込みの者
- (3) 専修学校の専門課程を修了した者又は令和8年3月修了見込の者のうち学校教育法132条の規定により大学に編入学することができる者
- (4) 外国において、学校教育における14年の課程を修了した者又は令和8年3月修了見込みの者
- (5) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における14年の課程を修了した者又は令和8年3月修了見込みの者
- (6) 我が国において、外国の短期大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における14年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられていた教育施設であつて、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者又は令和8年3月修了見込みの者
- (7) その他高等専門学校を卒業した者と同等以上の学力があると専攻科が認めた者

2. 願書受付

(1) 期 間	令和7年10月15日（水）～令和7年10月17日（金）16：00 必着 （郵送の場合は書留郵便にて提出してください）
(2) 時 間 （窓口受付）	窓口での受付時間 10：00～12：00, 13：00～16：00
(3) 場 所	松江工業高等専門学校 学生課 〒690-8518 松江市西生馬町 14-4 電話（0852）36-5131

3. 出願手続

志願者は、次の書類を取りまとめ、必要事項が記載された角形2号封筒に入れて、提出してください。

(1) 入 学 願 書 受 験 票 写 真 票	本校ホームページより様式ファイルをダウンロードし、必要事項を記入し印刷したもの。 写真票は、所定の位置に最近3ヶ月以内に撮影した正面・上半身・脱帽の写真（縦4cm×横3cm）を貼付してください。
(2) 入 学 志 願 者 受 験 承 諾 書	本校ホームページより様式ファイルをダウンロードし、企業等の所属の長が必要事項を記入したもの。 （企業等に在職のまま入学する者のみ提出してください。）
(3) 志 望 理 由 書	本校ホームページより様式ファイルをダウンロードし、志願者が志望した動機等を記入したもの。
(4) 取 組 み 報 告 書	5部（志願者の技術的な作品や取り組み、あるいは開発実績等について志願者自身が作成したもの） 記入にあたっては、後述の5. 取り組み報告書作成要領を参照してください。
(5) 入 学 志 願 者 調 査 書	本校ホームページより様式ファイルをダウンロードし、出身学校長が作成し、厳封したもの。 出願資格の(3)(4)(5)(6)により出願する者は、それを証明する書類を併せて提出してください。
(6) 工 学 研 究 指 導 同 意 書	本校ホームページより様式ファイルをダウンロードし、入学後工学研究を指導する予定の教員が必要事項を記載したもの。
(7) 検 定 料	入学検定料 16,500円 振込受付期間 令和7年10月8日（水）～令和7年10月17日（金） 振込先金融機関名 山陰合同銀行 支店名 本店営業部 預金種目 普通 口座番号 3663811 受取人トク コリツコウトケンモンガッコウキコホンブ [独] 国立高等専門学校機構本部] 振込方法及び提出書類

	次のいずれかの方法でお振込ください。振込依頼人のお名前は受験者の氏名としてください。 ・金融機関の窓口から振り込む場合 振込用紙（控）を「振込受付証明書」提出票に貼付し提出してください。 ・ATM から振り込む場合 ATM ご利用明細を「振込受付証明書」提出票に貼付し提出してください。 ・インターネットバンキングから振り込む場合 振込内容の確認できるページを印刷して「振込受付証明書」提出票に貼付して提出してください。 ※振込の際は金融機関の営業日、営業時間を十分考慮して手続きを行ってください。
(8) 返信用封筒 (1 枚)	受験票送付用として使用しますので、定型封筒 [長形 3 号 (12 c m × 23.5 c m)] に氏名を記入して提出してください。 なお、郵送を希望する場合は、郵便番号及びあて名を記入し、460 円分の切手(簡易書留料金を含む)を貼付して提出してください。
(9) そ の 他	現に日本国内に在住する外国人は、住民票（在留資格等を記載したもの。マイナンバーの記載のないもの。）を提出してください。

(願書提出上の注意)

- ① 出願書類の不備なものは受け付けません。
- ② 提出した出願書類に虚偽の記載があった場合は、入学後であっても入学を取り消すことがあります。
- ③ 出願書類提出後の記載事項の変更は認めません。
- ④ 受理した出願書類はいかなる理由があっても返還できません。
- ⑤ 納付された検定料の返還請求ができるのは、以下の場合です。
 - ・検定料を納付したが出願しなかった場合
 - ・検定料を納付したが出願書類の不備により受け付けられなかった場合
 - ・検定料を過大に納付した、又は重複して納付した場合

該当する場合は、松江工業高等専門学校 総務課会計室財務係（電話 0852-36-5121）までご連絡ください。なお、返還に係る振込手数料は請求者の負担となります。

4. 選抜方法

入学者の選抜は、書類審査と面接審査にて行います。

書類審査では取り組み報告書をもとに、志願者の取り組み等が技術的な水準に達するものであるかを判定し、面接審査では志願者のプレゼンテーション能力及び取り組み等に関する質疑から説明能力を判定します。

(1) 面接日時

令和 7 年 11 月 13 日（木）10 時から

(2) 面接場所

5. 取り組み報告書作成要領

取り組み報告書はA4用紙10枚以内（片面印刷）に、志願者のこれまでの技術的な取り組み、開発経験などについて記入してください。下記の記載方法に沿って作成してください。

- ・文字は10.5ポイント以上
- ・段組みは1段
- ・1ページあたり40行以内
- ・上下左右の余白は25mm以上
- ・写真、図表の添付は自由。ただし、10枚を越える付録などは認めない。

取り組み報告書では、

(1) 取り組みの概要

(2) 技術的な詳細（一部にポイントを絞られても構いません）

(3) その取り組みを行った中での

- ・技術的な事柄についての評価、判断、決定について
- ・取り組み遂行に当たって解決した問題点
- ・志願者自身による考察、評価

(4) 卒業研究等を基礎として、その内容を発展させた取り組みについて記載する場合は、卒業研究等との相違点

を必ず記入してください。

書類審査では、取り組み等が要求する技術的水準に達しているかどうかを判定します。取り組み等がはっきりとわかる報告書を作成してください。

6. 面接審査の概要

面接審査は最大45分を予定しており、プレゼンテーション及び面接を実施します。

(1) プレゼンテーション

10分以下で取り組み事例に関してのプレゼンテーションを行ってください。パワーポイント、ポスター、実物、モデル、写真など、取り組み等を説明する資料をご使用ください。プロジェクトは本校にて用意致しますが、パソコンはご持参ください。プレゼンテーションは、終わらない場合でも10分で打ち切りとします。なお、持込可能な実物やモデル等は、本校で準備する机（60×180cm）1台に乗せることができるサイズとする。

(2) 面接

志望動機や志願者自身が取り組み等を行った際の体験について質疑を行います。質疑では、

- ・志望動機
- ・なぜその取り組みを始めるに至ったか
- ・その取り組みにおいての技術的な問題点は何か
- ・取り組みにおいて行われた評価、判断、決定について
- ・どのような計画を立て、どのように行動し、結果がどうであったか

- ・取り組みについての考察, 反省
- ・取り組みに関連する技術的な事柄

など, 取り組みに関して尋ねます。

面接では, 志望動機, その取り組みを遂行する過程での評価, 判断, 決定等, 志願者が行ったプロセスに関して, 志願者がどの程度その取り組み等において技術的な力を発揮したか, 取り組み等における志願者のプロセスの進め方, をポイントに採点します。抽象的な意見ではなく, 取り組みにおける体験に基づいて答えてください。

7. 合格者の発表

- (1) 日 時 令和7年11月21日(金) 14時
- (2) 発表方法 合格者の受験番号を本校に掲示するとともに, 合格者には, 合格通知書を本人に手交又は郵送します。なお, 電話等による問い合わせには一切応じません。
また, 掲示後, 松江高専ホームページ<https://www.matsue-ct.jp>の「お知らせ」に合格者の受験番号を参考までに掲載します。

(3) 入学確約書の提出

合格通知を受けた者は, 令和7年11月28日(金) 16時までに「入学確約書」を松江工業高等専門学校学生課へ提出してください。

(郵送の場合も, 簡易書留郵便で11月28日(金) 16時**必着**とします。)

なお, 期限までに「入学確約書」を提出しない者は, 本校に入学の意思がないものとして取り扱います。

Ⅲ 専攻科入学者選抜に関する合理的配慮の提供に関して

本校では, 「障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律」「文部科学省所管事業分野における障害を理由とする差別の解消の推進に関する対応指針」及び, 「独立行政法人国立高等専門学校機構における障害を理由とする差別の解消の推進に関する対応要領」に則り, 障害等による支援ニーズのある学生に対して, 受験上または修学上の合理的配慮の提供を行っています。

専攻科入学者選抜において障害等を理由とした合理的配慮の提供を希望する者は, 早めに本校学生課(電話: 0852-36-5131)までご相談ください。なお, 合理的配慮の提供には準備に時間がかかることもあるため, 入学願書提出期限の一か月前を過ぎてからの相談及び申請では準備期間が短くなり, 希望する合理的配慮を受けられず, 安心して試験を受けられなくなる可能性があることに注意してください。

必要に応じて, 学生, 学生の保護者及び, 在籍する学校関係者等に対して, 相談された内容について質問する場合がありますが, 合理的配慮に関する申請及び問い合わせ内容は入学者選抜の可否判定には一切影響ありません。

入試の公平性を担保するため, 合理的配慮提供の根拠となる資料の提出を求める場合があります。必要となる根拠資料※に関しては, 1) 障害者手帳の種別・等級・区分認定, 2) 適切な医学的診断基

準に基づいた診断書, 3) 標準化された心理検査等の結果, 4) 専門家の所見, 5) 専攻科等入学前の支援状況に関する資料, 6) 本人が自らの障害の状況を客観的に把握・分析した説明資料等が該当します。

※参考：文部科学省「障害のある学生の修学支援に関する検討会報告（第二次まとめ）」

※根拠資料に関しては提出の要不要に関しても本校学生課までご相談ください。ご提出いただく根拠資料としての要件を満たしているかどうか、確認いたします。満たしていない場合は、その理由を明示したうえで再提出を求めることがあります。

(お願い)

入学後に修学上の合理的配慮が必要な場合には、合理的配慮提供のための準備を十分に行うために、出願前の可能な限り早い段階で「事前相談」を受けられることをお勧めします。入試後、または入学後に合理的配慮に関して初めて申請なされると、修学に必要な支援を十分に受けられなくなる可能性があります。なお、事前相談を受けられても、入学者選抜の合否判定には一切影響ありません。

IV 入学手続

必要な手続事項については、入学確約書を提出した者に別途 2 月頃に通知します。ただし、所定の期間内に入学手続きを完了しない者には、入学を許可しません。

V その他

個人情報の取扱いについて

入学志願者から提出された入学願書や調査書等に記載されている情報及び選抜に用いた試験成績・評価などの入学者選抜を通じて取得した個人情報は、入学者選抜の資料として利用するとともに、次の目的のためにも利用します。

- (1) 入学後の教育・指導
- (2) 入学科、授業料の免除申請の審査
- (3) 奨学金申請の審査
- (4) 本校及び国立高等専門学校全体の教育制度・入学者選抜制度の改善のための調査・研究
- (5) 合格通知及び入学手続き

問い合わせ先

募集要項に関して不明な点は、下記まで照会してください。

〒690-8518 松江市西生馬町 14-4 松江工業高等専門学校 学生課 電 話 (0852) 36-5131 F A X (0852) 36-5148 電子メール kyoumu@matsue-ct.ac.jp
--

入 学 案 内

1. 設置の趣旨

科学技術の高度化とシステム化が急速な勢いで進む中で、産業界では絶え間ない技術革新への対応を迫られています。また、一方で企業活動の国際化が急速に進んでいます。このような社会背景にあって、創造性豊かな学生の育成と、地域社会との連携による新技術の創出が求められています。このことから

- (1) 創造性と実践的技術力を兼ね備えた国際的エンジニアの育成
- (2) 社会人教育への門戸開放と再教育の場の提供
- (3) 研究成果の社会への還元

の使命を担い、平成14年4月に2つの専攻が設置されました。

2. 専攻及び入学定員

生産・建設システム工学専攻	8名
電子情報システム工学専攻	12名

3. 修業年限及び修了要件

- (1) 修業年限 2年
- (2) 修了要件 7. に述べる必要単位数を修得すること。

4. 特 徴

- (1) 専門知識の深化と応用 (2) 研究の個別指導 (3) 少人数教育 (4) 安価な教育費

5. 教育目標

『学んで創れるエンジニア』の育成

(教育理念に基づいた本校(本科および専攻科)の教育目標)

- ま 教養、対話力、技術の基礎を身に付け、自己を向上させようとする姿勢
つ ささまざまな視点から対象を観察し、新たな形を創りあげようとする意欲
え 世界市民として、社会に貢献し環境を考え、技術の進化に挑戦する意志

生産・建設システム工学専攻
(令和7年度以降の入学者に適用する教育課程)

(令和7年度以降の入学者に適用する教育課程)											
区分		授業科目	単位数	学年別配当				DP番号	専門 科目 区分	備考	
				1年		2年					
				前期	後期	前期	後期				
一般 科目	選択科目	時 事 英 語	2	2				P3		研修期間に応じ、最大4単位 までとする。	
		英 語 プレゼンテーション	2		2			P3			
		科 学 技 術 英 語	2			2		P3			
		総合英語コミュニケーション	2				2	P3			
		海 外 語 学 研 修	1～4	1～4				P3		演習	
		英 語 演 習 1	1	1				P3			
		英 語 演 習 2	1		1			P3			
		日 本 語 表 象 文 化	2	2				P3			
	地 域 社 会 史 論	2		2			P3				
	開設単位数	18	18								
修得単位数	10 単 位 以 上										
専門 共通科目	必修科目	システム技術実験 1	2	2				P2		実験実習	
		システム技術実験 2	1		1			P2			
	選択科目	数 学 要 論 1	2	2		2		P1		M	
		数 学 要 論 2	2		2		2	P1			
		計 算 力 学	2			2		P1			
		量 子 力 学	2			2		P1			
		エンジニアリング・デザイン1	2	2				P2			
		エンジニアリング・デザイン2	2		2			P2		M	
		統 計 解 析 法	2		2			P2			
		人 工 知 能 概 論	2		2			P2			
		環 境 科 学	2				2	P3		C	
		技 術 論	2				2	P3			
		キャリア形成導入論	2	2				P1		研修期間に応じ、最大8単位 までとする。	
		海 外 技 術 研 修	1～8	1～8				P3			
		開設単位数	33	33							
		修得単位数	20 単 位 以 上								
専門 展開科目	必修科目	生産・建設システム工学研究1	8	8				P2		実験実習	
		生産・建設システム工学研究2	12			12		P2			
	選択科目	構 造 解 析 学	2	2		2		P1		M・C	隔年開講科目(奇数年度)
		流 体 力 学	2	2		2		P1		M・C	隔年開講科目(奇数年度)
		熱 工 学	2	2		2		P1		M	隔年開講科目(偶数年度)
		地 盤 工 学	2	2		2		P1		C	隔年開講科目(偶数年度)
		水 文 学	2	2		2		P1		C	隔年開講科目(奇数年度)
		環 境 モ ニ タ リ ン グ	2		2		2	P1		C	隔年開講科目(奇数年度)
		材 料 工 学 1	2	2		2		P1		C	隔年開講科目(奇数年度)
		材 料 工 学 2	2	2		2		P1		M・C	隔年開講科目(偶数年度)
		メカトロニクス概論	2		2		2	P1		M	隔年開講科目(奇数年度)
		社会調査論	2		2		2	P1		C	隔年開講科目(偶数年度)
		振 動 工 学	2	2		2		P1		M・C	隔年開講科目(偶数年度)
		制 御 工 学 概 論	2		2		2	P1		M	隔年開講科目(偶数年度)
		インターンシップ	1～8	1～8				P3		M	実習実施期間に応じ、インターン シップと建設系インターンシップ合 わせて最大8単位までとする。
		建設系インターンシップ	1～8	1～8				P3		C	
		開設単位数	60	60							
		修得単位数	28 単 位 以 上								

※修了要件(単位数)は、一般科目10単位以上かつ専門共通科目20単位以上かつ専門展開科目28単位以上を含む合計62単位以上修得する必要がある。

なお、修了の認定については、「松江工業高等専門学校専攻科に関する規則」第14条を参照のこと。

隔年開講科目は、奇数年度又は偶数年度に、第1学年及び第2学年を対象に開講される科目である。

専門科目区分欄は次の出身学科を示す。 M:機械工学科 C:環境・建設工学科

電子情報システム工学専攻

(令和7年度以降の入学者に適用する教育課程)

区分		授業科目	単位数	学年別配当				DP番号	専門 科目 区分	備考
				1年		2年				
				前期	後期	前期	後期			
一般 科目	選択科目	時 事 英 語	2	2				S3		研修期間に応じ、最大4単位 までとする。
		英 語 プレゼンテーション	2		2			S3		
		科 学 技 術 英 語	2			2		S3		
		総合英語コミュニケーション	2				2	S3		
		海 外 語 学 研 修	1～4	1～4				S3		演習
		英 語 演 習 1	1	1				S3		
		英 語 演 習 2	2	1	1			S3		
		日 本 語 表 象 文 化	2	2				S3		
	地 域 社 会 史 論	2		2			S3			
開設単位数		18	18							
修得単位数		10 単 位 以 上								
専門 共通科目	必修科目	シ ス テ ム 技 術 実 験 1	2	2				S2		実験実習
		シ ス テ ム 技 術 実 験 2	1		1			S2		
	選択科目	数 学 要 論 1	2	2		2		S1	J	実験実習
		数 学 要 論 2	2		2		2	S1		
		計 算 力 学	2			2		S1		
		量 子 力 学	2			2		S1		
		エンジニアリング・デザイン1	2	2				S2		
		エンジニアリング・デザイン2	2		2			S2		
		統 計 解 析 法	2		2			S2		
		人 工 知 能 概 論	2		2			S2		
		環 境 科 学	2				2	S3		
		技 術 論	2				2	S3		
		キ ャ リ ア 形 成 導 入 論	2	2				S1		
		海 外 技 術 研 修	1～8	1～8				S3		
開設単位数		33	33							
修得単位数		20 単 位 以 上								
専門 展開科目	必修科目	電子情報システム工学研究1	8	8				S2		実験実習
		電子情報システム工学研究2	12			12		S2		
	選択科目	デ ィ ジ タ ル 信 号 処 理	2	2		2		S1	E・D・J	隔年開講科目(奇数年度)
		応 用 計 測 工 学	2	2		2		S1	E・D・J	隔年開講科目(偶数年度)
		シ ス テ ム 制 御 工 学	2		2		2	S1	E・D・J	隔年開講科目(奇数年度)
		知 能 情 報 工 学	2	2		2		S1	E・D・J	隔年開講科目(偶数年度)
		計 算 機 ア ー キ テ ク チ ャ	2	2		2		S1	E・D・J	隔年開講科目(奇数年度)
		離 散 数 学	2	2		2		S1	E・D・J	隔年開講科目(奇数年度)
		電 磁 気 学	2		2		2	S1	E・D・J	隔年開講科目(奇数年度)
		パ ワ ー エ レ ク ト ロ ニ ク ス	2		2		2	S1	E・D・J	隔年開講科目(偶数年度)
		電 子 物 性 論	2		2		2	S1	E・D・J	隔年開講科目(奇数年度)
		シ ス テ ム プ ロ グ ラ ム	2		2		2	S1	E・D・J	隔年開講科目(偶数年度)
		シ ス テ ム 開 発 管 理	2		2		2	S1	E・D・J	隔年開講科目(奇数年度)
		ネ ッ ト ワ ー ク 管 理	2	2		2		S1	E・D・J	隔年開講科目(偶数年度)
		デ ィ ジ タ ル 制 御 工 学	2		2		2	S1	E・D・J	隔年開講科目(偶数年度)
		イ ン タ ー ン シ ッ プ	1～8	1～8				S3	J	実習実施期間に応じ、インター シップと電気電子系インターンシ ップ合わせて最大8単位までと する。
		電 気 電 子 系 イ ン タ ー ン シ ッ プ	1～8	1～8				S3	J	
		開設単位数		62	62					
修得単位数		28 単 位 以 上								

※修了要件(単位数)は、一般科目10単位以上かつ専門共通科目20単位以上かつ専門展開科目28単位以上を含む合計62単位以上修得する必要がある。

なお、修了の認定については、「松江工業高等专科学校専攻科に関する規則」第14条を参照のこと。

隔年開講科目は、奇数年度又は偶数年度に、第1学年及び第2学年を対象に開講される科目である。

専門科目区分欄は次の出身学科を示す。 E:電気情報工学科 D:電子制御工学科 J:情報工学科

7. 修了に必要な単位数

専攻科の各授業科目の履修は単位制により実施します。表1に示すように教育課程においては各専攻で開設されているすべての必修科目を修得し、かつ必修科目と選択科目の合計62単位以上を修得する必要があります。

表1 修了に必要な修得単位数

区 分	必修科目	選 択 科 目		
一 般 科 目		10 単位以上		
専門共通科目	3 単位	17 単位以上	4 単位以上	
専門展開科目	20 単位	8 単位以上		
計	23 単位	35 単位以上	4 単位以上	62 単位以上

専門共通科目と専門展開科目の選択科目のうち、教育課程表に示された専門科目に分類される科目を8単位以上修得していること。

8. 工学研究テーマ

生産・建設システム工学研究1・2及び電子情報システム工学研究1・2（工学研究）における研究テーマは、入学後に教員と相談して決めてください。

9. 入学時に必要な諸経費

費 目	金 額	備 考
入 学 料	84,600 円	令和8年度予定額（入学手続き時に納付） 改定が行われた場合には、改定時から新入学科が適用されます。
授 業 料	117,300 円 (年額 234,600 円)	令和8年度予定額 毎年5月31日までに前期分(117,300円)、10月31日までに後期分(117,300円)を納付することになっています。 在学中に授業料の改定が行われた場合には、改定時から新授業料が適用されます。
教科書等	60,000 円程度	
合 計	262,000 円程度	

10. 入学科・授業料免除

(1) 高等教育の修学支援新制度

令和2年4月から文部科学省により開始された新しい修学支援制度です。

採用された場合、入学科・授業料の減免と返還の必要のない給付奨学金により、学生の学びを支援します。本制度を受けるには日本学生支援機構の給付奨学金の申請が必要です。

※減免・支給額は世帯収入等により異なります。

※令和7年度から始まる多子世帯（子を3人以上扶養する世帯）の大学等の授業料等無償化を利用する場合も本制度の申請が必要になります。

(2) 国立高等専門学校機構における入学料・授業料免除

入学する者の主たる学費負担者の死亡、風水被害等の災害を受けた場合、その他やむを得ない理由等により、授業料・入学料の納付が著しく困難であると認められる場合について支援を行う制度があります。

11. 奨学金制度

日本学生支援機構の規定に基づき、学業・人物ともに優れ、かつ健康であって学費の支弁が困難と認められる者に対し、奨学金が給付または貸与される制度があります。

日本学生支援機構の奨学金の他、地方公共団体・民間育英団体等の奨学金があります。募集については都度、学内掲示等により周知します

12. 寄宿舍（直野寮）

学校敷地内に教育寮として寄宿舍（男子寮・女子寮）が設置されています。

なお、定員の都合により希望に添えない場合もあります。

13. 学士（工学）の学位の取得について

学士の学位の取得には、高等専門学校卒業生が本校の専攻科で2年以上にわたって62単位以上を修得し、(独)大学改革支援・学位授与機構（以下「学位授与機構」という）の審査に合格する必要があります。単位を修得し、審査に合格すると、同機構から大学教育修了相当の知識・能力を有すると認められ、学士の学位が授与されます。審査に伴い大学改革支援・学位授与機構への審査手数料 32,000 円が必要です。

本校専攻科は、学位授与機構から特例適用専攻科（学士の学位の授与に係る特例の適用認定を受けた専攻科）として認定を受けています。これにより、従来の学生個人が学位授与機構の試験を受けて学位を取得する方式から、学校が専攻科修了見込者をまとめて学位授与機構に申請し、一括審査される方式となっています。特例適用により学位を取得するには、学位授与機構に認定された本校本科4・5年次と専攻科1・2年次の科目において修得した単位数が所定数を超過していることに加え、学位授与機構による学修総まとめ科目の審査に合格する必要があります。本校では、専攻科2年次の「工学研究」が学修総まとめ科目にあたります。なお、本校以外の高専から専攻科に入学される方は、所属高専本科の教育課程が、学位授与機構に登録されている本校本科の教育課程と同等と認められる必要があります。これに当てはまらない場合は、学生個人が学位授与機構の試験を受けて学位を取得する従来方式となります。